

<乳・乳製品部会 (CCMMP) >

事項	概要	審議結果
複合発酵乳飲料に係る発酵乳規格の修正原案	発酵乳規格に、「発酵乳を基にした飲料(drinks based on fermented milk)」に関する記載を加えた修正原案。発酵乳の最小含量については合意に至らず、括弧付きで[40%]とされている。	最小含量などの内容に関する議場でのコメントについては、CCMMPにおいて再度議論することとした上で、原案どおり（発酵乳の最小含有量については[ ]付きのまま）採択された。

<分析・サンプリング法部会 (CCMAS) >

事項	概要	審議結果
分析用語に関するガイドライン原案	コーデックスで使用される分析用語の定義に関するガイドライン。	特段の議論なく、採択された。

<汚染物質部会 (CCCF) >

事項	概要	審議結果
食品中のアクリルアミドの低減に関する実施規範原案	じゃがいも製品及びシリアル製品におけるアクリルアミドの低減のための実施規範原案。	原案どおり採択された。 スイスより、糖含有量の高いジャガイモのアクリルアミド低減については効果的な方法が示されていないことから、科学的データに基づき更に議論する必要性が示された。インドからは、糖含有量を抑えるために品種を選択したり、保存温度や期間を設定したりすることは、特に途上国にとっては必ずしも可能ではないとの見解が示された。これらコメントについては次回 CCCF

		会合に付託することで合意された。
燻製及び直火乾燥工程における多環芳香族炭化水素 (PAH) 汚染の低減に関する実施規範原案	燻製及び直火乾燥工程に由来する PAH 類による食品汚染低減のための実施規範原案。	特段の議論なく、採択された。

< 残留農薬部会 (CCPR) >

事項	概要	審議結果
農薬最大残留基準値 (MRL) 原案	第 40 回 CCPR で審議された 5 農薬の MRL 原案。	原案どおり採択された。 なお、EC 及びノルウェーは、triadimefon (133) - (grapes)、cyfluthrin/beta-cyfluthrin (157) - (broccoli and head cabbage)、flusilazole (165) - (pome fruits, peach, nectarine and bovine edible offal) の MRL について留保を示した。

< 生鮮果実・野菜部会 (CCFFV) >

事項	概要	審議結果
りんごの規格原案	コンセンサスが得られなかった、硬さ、着色程度による等級わけ、ペスト (虫害) について、[ ] を付して仮採択。	特段の議論なく、採択された。

議題6. 既存のコーデックス規格及び関連文書の廃止

<食品添加物部会 (CCFA) >

事項	概要	審議結果
食品添加物の一般規格 (GSFA) の食品添加物条項	21 の食品添加物に関する条項についての廃止。	特段の議論なく、廃止が承認された。
天然香料についてのコーデックス一般要求事項 (CAC/GL 29-1985)	香料の使用のためのガイドラインが最終採択された場合は廃止。	特段の議論なく、廃止が承認された。
食品添加物の同一性及び純度に関するコーデックス規格	Furfural (フルフラール) の規格の廃止。	特段の議論なく、廃止が承認された。

<魚類・水産製品部会 (CCFFP) >

事項	概要	審議結果
軟体動物貝類に関して推奨される国際衛生規範	魚類・水産製品に関する実施規範案のセクション7 (活・生鮮二枚貝に関する項) が最終採択された場合は廃止。	特段の議論なく、廃止が承認された。
ロブスターに関して推奨される国際衛生規範	魚類・水産製品に関する実施規範案のセクション13 (ロブスターに関する項) が最終採択された場合は廃止。	魚類・水産製品に関する実施規範案のセクション13 (ロブスターに関する項) が採択されなかったため、据え置くこととされた。

<食品衛生部会 (CCFH) >

事項	概要	審議結果
乳幼児用食品に関して推奨される国際衛生規範	乳幼児用調製粉乳に関する衛生実施規範原案が最終採択された場合は廃止。	乳幼児用調製粉乳に関する衛生実施規範の議論 (議題4) において、本国際衛生規範を廃止することで、缶入りベビーフードやシ

		<p>リアルを主体とした乳幼児用食品への言及がなくなることを懸念する意見があったが、それらの製品については、食品衛生の一般原則に関する国際衛生実施規範（CAC/RCP1-1969）や、その他既存の衛生実施規範で十分にカバーされているとの説明がなされたことを踏まえ、廃止が承認された。</p>
--	--	---

< 残留農薬部会（CCPR） >

事項	概要	審議結果
<p>農薬最大残留基準値（MRL）</p>	<p>第40回 CCPR で審議された、13 農薬の MRL について廃止する。</p>	<p>triadimenol 及び triadimefon - (tomato and peppers, sweet)の MRL については、グループ MRL が採択されるまで据え置くこととされた。</p> <p>その他の MRL 及びリストから意図せず漏れていた fenitrothion - (wheat)の MRL については廃止が承認された。</p>

議題 8. 規格及び関連文書に関する新規作業及び作業中止の提案

－新規作業－

<動物用医薬品部会（CCRVD）>

事項	概要	審議結果
JECFA による評価又は再評価を必要とする動物用医薬品の優先リスト	JECFA (FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議) による評価もしくは再評価をされるべき動物用医薬品の優先リストを作成するもの。	特段の議論なく、新規作業として承認された。
人の健康に関する特定の懸念のため JECFA が ADI/MRL を提案できない動物用医薬品についてのリスク管理に関する提案/ガイダンス	JECFA で毒性学的懸念から ADI/MRL を設定できない動物用医薬品について、CCRVD としてリスク管理のアドバイスを示すために、リスク管理の提案/ガイダンスを作成する作業を提案するもの。	米国より、情報が不足していることにより ADI/MRL が設定されていない動物用医薬品についても対象に含めるよう、作業の範囲を変更する提案がなされたところ、EC もこれを支持したが、重大な変更となることから、CCRVD に差し戻し、さらに検討することとされた。

<抗菌剤耐性に関する特別部会（TFAMR）>

事項	概要	審議結果
食品由来の抗菌剤耐性菌に係る科学に基づいたリスク評価ガイダンス	食品や飼料に存在したり、食品や飼料を介して感染する抗菌剤耐性の微生物及び耐性因子に関して、JEMRA 及び/又は国及び/又は地域が、ヒトの健康への潜在的なリスクを評価するに当たってのガイダンスを作成する新規作業。	特段の議論なく、新規作業として承認された。
食品由来の抗菌剤耐性菌の封じ込めのためのリスク管理ガイダンス	国及び/又は地域のためのリスク管理ガイダンスを作成する新規作業。選択したリスク管理オプションが効果的であるかについて、どのように測定又はモニターするか	特段の議論なく、新規作業として承認された。

	に関してもガイダンスに含める。	
リスク評価及び管理に係る食品由来の抗菌剤耐性菌の優先付けのためのリスクプロファイル作成ガイダンス	抗菌剤耐性に関する食品安全問題の特定、リスクプロファイルに必要なデータや食品由来の抗菌剤耐性微生物にかかるリスクについての優先順位付けについてのガイダンスを作成する新規作業。	特段の議論なく、新規作業として承認された。

< 食品衛生部会 (CCFH) >

事項	概要	審議結果
生鮮果実・野菜に関する衛生実施規範の個別付属文書	「生鮮果実・野菜に関する衛生規範」に関して、緑色葉野菜に特化した付属文書。	特段の議論なく、新規作業として承認された。
海産食品中のビブリオ属菌に関する衛生実施規範	海産食品中のビブリオ属に関する衛生実施規範を作成する作業。日本が座長国を務める物理的作業部会が既に開催され、次回 CCFH における検討のための原案の作成が行われたところ。	特段の議論なく、新規作業として承認された。

< 栄養・特殊用途食品部会 (CCNFSDU) >

事項	概要	審議結果
栄養表示ガイドラインに記載されている栄養参照量の改訂案	一般集団又及び乳幼児を対象とした栄養参照量(NRV)策定のための全般的なガイドラインを作成するもの。まず一般集団に対する NRV の全般的なガイドラインを作成して NRV の見直しを検討し、次に、一般集団に対するガイドラインに基づいて乳幼児を対象とするガイドラインを作成し、NRV を設定することとされている。	特段の議論なく、新規作業として承認された。

<食品輸出入検査・認証制度部会（CCFICS）>

事項	概要	審議結果
海外監査団による検査の実施のためのガイドライン	輸出国の措置を評価する手段として行われている、輸入国による海外現地調査、査察又は検査について、その原則及びガイドラインを作成する新規作業。	特段の議論なく、新規作業として承認された。
公的証明書の様式と証明書の作成及び発行のためのガイドライン（CAC/GL 38-2001）の付属文書：衛生証明書の一般様式	「公的証明書の様式と証明書の作成及び発行のためのガイドライン（CAC/GL 38-2001, Rev.1-2005, Rev.2-2007）のANNEX として、あらゆる品目タイプに適用し得る衛生証明書の一般的モデルを作成する新規作業。	特段の議論なく、新規作業として承認された。

<分析・サンプリング法部会（CCMAS）>

事項	概要	審議結果
バイオテクノロジー応用食品の検出と同定に関する分析法の規準に関するガイドライン	バイオテクノロジー応用食品の検出と同定に関する分析法の規準について、ガイドラインを作成するもの。	本作業については、遺伝子組換え食品だけではなく、アレルゲンや汚染物質についても適用できるよう、スコープを拡大するために CCMAS に差し戻すか、もしくは、この場でプロジェクト・ドキュメントのスコープの項を修正することを米国が提案したが、これら懸念や提案は CCMAS で検討することとして、本件を新規作業として承認した。
測定の不確かさに関するガイドラインの改訂	「測定の不確かさについてのガイドライン」(GL54-2004) に対する注釈として、ガイダンスを作成するもの（必要	特段の議論なく、新規作業として承認された。

	に応じて GL54 の一部を改訂する)。	
--	----------------------	--

<汚染物質部会 (CCCCF) >

事項	概要	審議結果
JECFA により評価される汚染物質、天然毒素の優先リスト	DON、フラン、過塩素酸塩に加え、3-MCPD エステルが新たに優先リストに追加された。	特段の議論なく、新規作業として承認された。
ブラジルナッツ中の総アフラトキシンの最大残留基準値	ブラジルナッツ中の総アフラトキシンの最大基準値原案の作成を開始するもの。	新規作業として承認された。 ノルウェーは、GAP、GMP 及び実施規範等の導入によって達成可能な総アフラトキシンのレベルが、まだ明確になっていないとの理由で留保を示した。ブラジルは、検討に必要なデータは提供される旨発言があった。
コーヒー中のオクラトキシシン A 汚染の防止及び低減に関する実施規範	コーヒー中のオクラトキシシン A 汚染の防止及び低減に関する実施規範原案の作成を開始するもの。	新規作業として承認された。 スイスは、実施規範を作成する前に、FAO の「コーヒーにおけるカビ形成を防止するためのガイドライン」に照らして、新規作業が必要か否か CCCC で更に検討すべきとして、留保を示した。

<残留農薬部会 (CCPR) >

事項	概要	審議結果
農薬の優先リスト (新農薬の追加、定期見直し中の農薬)	2013 年度までの評価依頼優先リスト案 (再評価されるべき農薬も含む) についての新規作業。	特段の議論なく、新規作業として承認された。
結果の不確かさの推定法の適	第 29 回総会で採択された分析結果の不確かさの推定法	特段の議論なく、新規作業として承認され

用に関する討議文書	に関するガイドラインに関して、残留農薬分析に特化したガイダンスを作る必要があることから、同ガイドラインを改定する新規作業。現在、CCMASでも同様の検討が行われていることから、その作業との関係についての議論がなされる可能性がある。	た。
CCPR に適用するリスク分析の原則の改訂	「CCPR に適用するリスク分析の原則」と「JMPR によって評価される農薬の優先度決定のための規律」及び「MRLs の定期的再評価の手続き」の重複や矛盾を整理し改定する新規作業。	特段の議論なく、新規作業として承認された。

< 食品添加物部会 (CCFA) >

事項	概要	審議結果
JECFA による評価のための食品添加物優先リスト	JECFA による評価を求める食品添加物についての優先リストの作成。	特段の議論なく、新規作業として承認された。
加工助剤の使用に関するガイドライン	加工助剤の使用について、安全な使用のための一般原則、加工助剤の技術的分類等を含むガイドラインの作成。	特段の議論なく、新規作業として承認された。

< 食品表示部会 (CCFL) >

事項	概要	審議結果
有機食品に関するガイドライン改訂原案 (ロテノン)	我が国が準備した、魚毒性の強いロテノン (デリス根に含まれる殺虫目的で使用する資材) を、有機食品の生産、加工、表示及び流通に関するガイドラインの使用許可資材から削除するか、または、使用に際しては水系に入らないよう限定することとの注釈を追加するもの。	特段の議論なく、新規作業として承認された。

<p>栄養表示に関するガイドライン改訂原案 (FAO 及び WHO からの付託事項：食事、運動及び健康に関する WHO の世界的な戦略)</p>	<p>WHO の戦略に基づく栄養成分リストの拡大、栄養強調表示を義務化するための問題点等を把握するとともに、表示の読みやすさに関する規準及び原則を策定するもの。</p>	<p>特段の議論なく、新規作業として承認された。</p>
--	--	------------------------------

< 生鮮果実・野菜部会 (CCFFV) >

事項	概要	審議結果
ドリアンの規格	新たに規格を策定するための新規作業。	ドリアンを国際レベルで規格化することの是非についていくつかの国から懸念が示されたが、ドリアンの国際貿易は増加しており本規格を策定する必要性が認められること、また、規格の必要性を再検討するのであれば、CCASIA の議題の多さを考慮し、CCFFV に付託してほしいとのタイの意見を踏まえ、本件については CCFFV に差し戻すこととした。
チリペッパーの規格	新たに規格を策定するための新規作業。	唐辛子の辛味の度合い等については既に国際規格が存在することから、作業の重複は避け、これら特定の項目については既存の文書を参照し、ここでは品質に関連した残りの部分について作業することとして、本件を新規作業として承認した。
ツリートマトの規格	新たに規格を策定するための新規作業。	特段の議論なく、新規作業として承認された。

アボガドの規格改定	現行の品質及びサイズの規定が現状と合わないため、これを見直すための新規作業。	特段の議論なく、新規作業として承認された。
-----------	--	-----------------------

< ナチュラルミネラルウォーター部会 (CCNMW) >

事項	概要	審議結果
ナチュラルミネラルウォーター規格 (CODEX STAN 108-1981) の修正	分析・サンプリング法を特定するとともに、界面活性剤、農薬及びPCB類、鉱油、多環芳香族炭化水素及び微生物の最大残留基準値を検討するもの (CCNMWにおいてケニヤから提案された)。	それぞれの内容について CCMAS、CCCF、CCPR に優先事項として作業できるか検討を付託するとともに、CCFH に対しては、「ナチュラルミネラルウォーターの採取、製造、販売に関する国際衛生実施規範勧告」の改訂の可能性について検討を依頼することとした。これら部会の報告に基づき、次回総会でさらに検討することとされた。

— 作業の中止 —

< 動物用医薬品部会 (CCRVDF) >

事項	概要	審議結果
ブラックタイガー及びその他のエビにおける Flumequine (フルメキン) の最大残留基準値 (MRL) 案	ブラックタイガー及びその他のエビ類におけるフルメキンの使用状況等について各国に情報を求めたところ、提案国であるタイ王国を含め使用実態がないことが確認されたことから、検討を中止する。	特段の議論なく、作業中止が承認された。

< 食品衛生部会 (CCFH) >

事項	概要	審議結果
卵及び卵加工品の衛生実施規範の付属文書:殺菌液卵ーリスク管理における食品安全メトリックスの適用	卵及び卵加工品の衛生規範の附属文書について PO (達成目標値) の例示が必要か否か検討した結果、その必要性が認められなかったため、作業を中止する。	特段の議論なく、作業中止が承認された。

< 残留農薬部会 (CCPR) >

事項	概要	審議結果
農薬最大残留基準値案及び原案	13 農薬の MRL 案の策定作業を中止する。	特段の議論なく、作業中止が承認された。

< 食品添加物部会 (CCFA) >

事項	概要	審議結果
食品添加物に関するコーデックス一般規格 (GSFA) の添加物条項に関する作業	50 の食品添加物に関する条項について、作業を中止する。	特段の議論なく、作業中止が承認された。

< 食品表示部会 (CCFL) >

事項	概要	審議結果
有機食品の生産、加工、表示及び流通に関するガイドラインの修正ー付属文書 2 (使用可能な資材) の改訂	亜硝酸塩、リン酸塩及びアスコルビン酸を追加する作業を中止する。	特段の議論なく、作業中止が承認された。

<生鮮果実・野菜部会（CCFFV）>

事項	概要	審議結果
生鮮果実・野菜の品質に関する検査・認証のためのガイドライン	先の部会で、検討中の CCFICS の規格及び既存の OECD の規格で目的が達成できるとして、作業を中止する。	特段の議論なく、作業中止が承認された。